礼儀知らぬ保守派

坪沼さん県の商工水産部長へ

細谷市長のよき女房役であつた坪沼助役が、こんど県の商工水産部長として栄転されることになりました。坪沼さんは昭和三十年七月山形県で農漁村研究所積雪地方支所長から助役に迎えられたもので、大牟田の農林・漁業問題では細谷市政に大きくプラスしたことは衆目の一致することで、今後の同氏の県での努力が期待されています。

七月二十八日からはじまり三十日でおわつた市議会で、坪沼さんの助役辞任がみとめられました。助役の辞任にあたつて「保守の議員は酒ばかりのんでいる」との公言や、「選挙違反」などがかさなり、やめざるをえないことになつたとデマを飛す人たちがいます。事実は、市長は坪沼さんに最後までのこつてもらいたかつたし、坪沼さんものこりたいといつていました。しかし、鵜崎知事が親友であり、かつての仕事上の部下であり相談相手である坪沼さんに、県に是非との、再三、再四ことわれないほどの懇望があり、県への転出にふみきつたわけです。

こんどは県と市のカケ橋になつてくださるでしょう。なお議会の最終日、坪沼さんが議場で（市民に向かつて）挨拶いたしました。保守のあらゆる妨害を排除し、助役に専任され、それから四年の間苦楽をともにした人たちと別れることに万感せまつたのか、またられしかつたこと、哀しかつたことが走馬灯のように坪沼さんの胸をうつたのか、挨拶の過程で坪沼さんは泣きました。聞いている革新クの議員の人たちも、涙が出るのをじつとこらえていました。

この坪沼さんの挨拶は、三交クラブや新政会は聞かないため、議場に入つて来ませんでした。礼儀を知らぬ奴らだと、新聞記者から笑われました。

坪沼さんの業績は、農漁業の体質改善、博覧会の成功など大牟田市の歴史に、いつまでも残るでしょう。

関係者に送られて県へ出向く坪沼さん（真中）

道路舗装へ努力

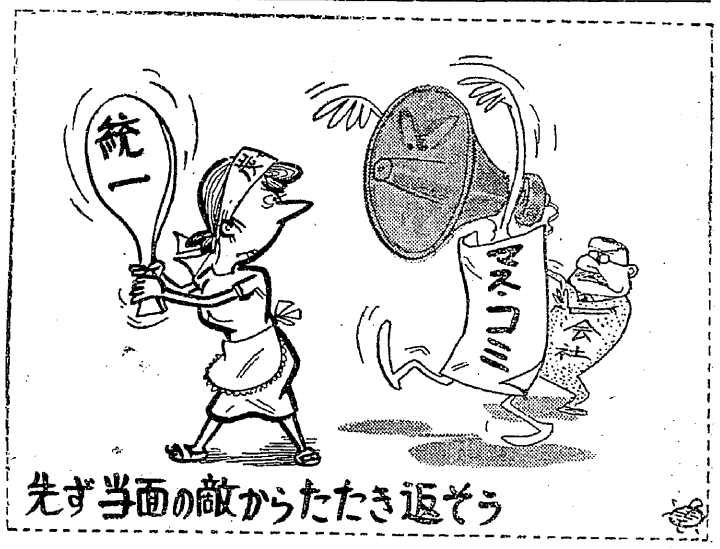
本年度国の舗装計画内に認められ

明朗な制度化へ

特別職、吏員の退手

新しい議会が構成されて、毎期問題になることでありますが、市長助役、収入役の常勤特別職の退職金と、非常勤特別職に対する記念品の支給であります。今までは前期の実績や各都市の状況をまたは慣例ということで、不明朗な決定がされていました。

今回はこれらのものを毎期ごとに政治的なとりきめをするのでなくて、はつきりと文書化することになりました。三役については、常勤特別職退職手当支給条例としてまた非常勤特別職やその他社会、文化、教育、産業、衛生その他公益に関する事業に尽すしたものや、市民の模範となる行為をしたものなどについては、表彰条例として、はつきり一定の基準を決定することになり、近く関係総務委員会で論議し、来る九月議会にそれぞれ提案することになりました。これと共に市職員の退職手当について、現行条例では吏員雇員と傭人のあいだには、身分差がありましたが、これを一本化し職場の明朗化を一歩進立することになつております。



補助を受けて実施中のところは諏訪川線、白金線、真導寺町線でありますが、当局並に革新クラブとしては瓦町米ノ山線、および旭町新開線を国の計画に認めさせるため、現在努力中であります。なお市単独費用で実施致します簡易舗装は、草木旧県道線、白金町、三里町線、本町線等がありますが、小浜町線の舗装についても努力中であります。

なお道路新設個所としましては、権現堂の通学道路をはじめ、白銀線、荒田比線、草木羽山線などの用地買収が予定されています。

貧困家庭の園児負担減

地元の国会議員が努力

厚生省の全国基準によつて、保育料の徴収には、被徴収者をA（被保護世帯）B（市民税非課税世帯）C（所得税非課税世帯）D（所得税課税世帯）の四階層に分け、それぞれ徴収されているが大牟田市の場合、ボーダーラインすれすれのC階層に該当する者が多く、父兄負担が大きいため、三十三年度は、議会はじめ各方面からの陳情により、特別軽減措置を講じてもらつた。しかしこの措置は一年限りの措置であるため、今年度もひきつづいて特別軽減措置を講じてもらうよう市長、議長が上京中に厚生省に陳情したところ、軽減措置はあくまでもその年の特別な事情を考慮して軽減するものであり、厚生省の保育所予算は昨年度より三億円の増となつているが、全国基準を動かすことは困難で、本年度は特別措置をうちきりたいということであつたが、八月十日付文書で県知事より市長あて特別として昨年どおりC階層については三〇〇円にすると通知があり、憂慮されていたこの問題も解決しました。

この解決のカゲには、地元選出の阿員根委議、田中代議士に依頼して中央交渉し、また瀬川、川口両県会議員と市の福祉事務所長、山崎教民委員長が同道し、県の部長課長へ陳情しました。また民政部長、児童課長は上京し、これが解決へ努力しました。

この措置が認められない時は年間六十万円の予算増となります。実施期間は本年四月一日より来年三月末日までの一カ年です。

首切りは不当だ

市職員復職で請願

十年まえの昭和二十四年末、市役所を定数条例の改正というかくれみのにつつまれて、首を切られた不当解職反対同盟は、五月十八日細谷市長に復職要求の申し入れをしました。これと共に市議会に対しても山本勇太郎（社）森田収蔵（共）両市議を紹介議員として復職の請願を提出し、総務委員会で継続審議することになりました。本市における行政整理は、定数条例改正により四十二名の出血をみた。これに対して労組出身議員の猛烈な反対があり、三鉱労組組合長阿員根市議から出血を要しない修正動議が出されたが、否決されました。その後直ちに地裁・地労委に不当労働行為として提訴したが、当時の政治情勢下で却下されたのであります。その後反対同盟（十二名）は敵の激しい攻撃の中で、苦しい生活と闘いつつ、復職をとなえ今日に至りました。

本市総務委員会としては、当時の資料を詳細に検討するとともに、関係当局や請願者また弁護士さらには、当時の市長、助役にも会談しあらゆる角度より問題を検討して来ました。九月議会では請願の取扱について結論を出すことになります。

失対へ共済補助

昨年十一月より日雇労働者の人たちが共済組合を設立して自分たちで会費を納めて、お互いに助け合つておられますが、貧しい暮しの人たちが多いために会費徴収額がすくないので、運営に困難を来しておられましたので、市当局として本年度から五十万円を補助するために議会に提案いたしましたところ、三交クラブ議員と保守派の一部議員の反対がありましたが賛成多数で本年度より補助することに決定いたしました。

部落共有地の保護

財産区條令できる

最近「部落有」または「部落共有」として法務局の土地台帳に登録されている土地が、墓地や、神社敷地の整理などの際に、その所有権の保存や、移転登記にそれぞれの部落で困つている状況であるので、六月議会で財産区に関する条例を制定して、それぞれの土地について財産区管理会（市長が市議会の同意を得て選任する七人以内の委員で構成する）を設けて、その土地についての管理や処分を合法的に行い、保存や移転の登記の利便をはかることになりました。部落有または部落共有財産についての処理方法は、全国各都市ともいまだ研究途上で、こうした条例が制定されたのは全国的に珍しい積極的なケースであります。

老人年金支給

大牟田市の敬老年金条令は、その規模こそ小さいけれども、老後の生活を保障しようとする社会保障制度の重要な一環をなすものであります。

かつまた、現在九月一日より発足している国民老令年金制度にさきがけて実施されたもので、社会保障制度の推進を常に叫んできた革新議員および市長としての公約の実現でもあります。このことは全市民のみなさんとともに喜びにたえません。

内容と手続きなどについては次のとおりです。

(1)金額＝一人当り二千円、年二回夏と十二月とに分けて支給されます。

(2)満八十才以上の者で大牟田市に五カ年以上在住した者。

(3)以上のほか戸籍抄本および民生委員の証明が必要です。

(4)受付場所＝市役所社会課（四階）

（写真は市の敬老年金支給風景）

市営住宅の家賃改正

昭和二十六年六月四日公布より今回法改正は二回目であり、内容の主な点は、使用料の減額・増額などの措置である。

減額は公営住宅の使用料の支払いが困難であると認められるものに対し減免することができるのであり、増額は入居者の収入が一定の収入基準をこえる場合において公営住宅より転居もしくは割増金を支払うことになつています。

また、既設公営住宅相互間の使用料の不均衡是正ということで公布以降の使用料を改正することになり、修繕・改良などの費用にあてることになつています。

以上のような内容ですが、実際に施行する場合は市条令を改正しなければできませんが、法公布は六月一日から施行されています。

田隈に中学校新設

歴木中学校、橋中学校における将来の生徒増加を考えた場合、両中学校とも校舎増築の余地がないため、中学校を新設することになり田隈と久福木（猫塚）の二カ所を予定地として比較検討していたが田隈の方が有利であるので田隈へ決定しました。

敷地としては八・一一六坪が七月議会で承認されました。

これにより三十四年度中に教室の建築を行い、三十五年度より一年生だけでも入校させたいということで急いでいます。

助役は経済通を

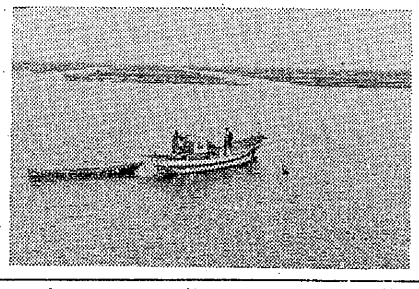
革新ク態度決める

九月の議会で新助役、教育長と監査委員の専任がおこなわれます。いずれも市長が人物をえらんで議会にはかり、議会の同意がいることになつています。

革新クラブの考えは、助役については農業または商業などの専門家であること。土性骨がしつかりしていること。以上二点を基本としてえらぼうと決めました。

教育長は、教育の実務にたずさわつたことのあるような人で勤評問題などには、しつかりした考えをもつている人が望ましい。

監査委員は、市の監査業務をまじめに忠実に正しくやれる人をと云うことになるでしょう。



水産関係に力点

大牟田市の水産関係の仕事は従来まで農林課で農林課の職員が担当していましたが、仕事の性質上十分でありませんので、細谷市政になつてから水産関係の専門家である水産技術者を採用し、更に水産係を新設しました。

従来まで海苔種付では他県より買付けていましたから収穫高約二億円の内約半額程度しか地元漁民の収穫にはならない情況でしたので本市では地元海苔種付の試験場を作り努力の結果、現在では相当数の現地種付利用が出来るようになりました。

また、昨年度巡視船を購入して海苔漁場及漁民を保護していますので漁民の方から非常に喜ばれています。

明治小濱に遊園地

児童遊園地補助二カ所決定

児童遊園地の補助については、明治町の一カ所は見込みがついたとのことであつたが、小浜町については非常に見とうしがくらく、福祉事務所長、敬民委員長らが県へ陳情に行つたりして動いていたが、これも地元選出議員の協力大で、小浜町も決定をみました。

この遊園地は一カ所五十万円の建設費の中の三分の二の三十三万円の補助となる。二カ所で六十六万円の補助決定となります。

市立病院は完全看護

市立病院の「基準看護」実施が承認されました。

基準看護とは看護婦さんが三交替で二十四時間患者の面倒をみるので、付添いをつけなくてすむ制度です。

病気の程度によつて四人ないし六人に一人の看護婦さんがつき、お世話をします。また基準給食も市立病院では三十年から実施しています。

病院で給食してくれますので炊事のわずらわしさもなく普通の食事のできない人には特別な食事も用意してあります。

西鉄バス運営懇談会発足

大牟田市内バスは西鉄の独占みたいになつていますので、今日までたくさんの問題があります。例えばバス運賃改訂についても一方的に政府の下部機構である運輸審議会に提出し運輸大臣の許可を受ければ実施することができて、市民の意向などは無視されています。

また運行道路についても補修などをしなければならぬが、これらの補修費などの徴収は法律的に非常に困難なため市民の税金で補修をしている情況です。（注　ガソリン税を県税として納めている）これらの問題を少しでも解決するため数年前より西鉄に対して運営委員会を設立するように交渉していましたが、最近西鉄より懇談会方式ならば作つてもよいとの回答がありましたのでこれを歓迎して発足します。